

千葉開府の日記念

# 千葉氏フォーラム議事録

千葉氏サミット実行委員会委員長

千葉 滋胤 氏 挨拶

■平成29年6月4日(日)

■千葉商工会議所第1ホール

○千葉滋胤（千葉氏サミット実行委員会委員長） 御紹介にあずかりました、実行委員をしております千葉でございます。日曜日の貴重な時間、御来会いただきまして、本当にありがとうございました。

お手元にある資料でございますけれども、千葉市の市歌の中にもございますが、ここに書いてありますように、常重は常胤のおやじさんでございますけれども、大椎から千葉のほうへ移ってきたのが1126年ということで大治元年でございます。それから千葉を拠点としまして居を構えたところへ、石橋山で頼朝が負けまして安房へ流れてきて、それからさかのぼって、皆さん御承知のように、千葉から今度は武蔵へ入って鎌倉へ入っていったというので、源氏にゆかりがある鎌倉の地ということで居を構えたわけです。ただ、今の鎌倉とか、その後の鎌倉ではなくて、当時の鎌倉というのは、まだ寺もなければ道も整備してないし、ちょっと鎌倉を見てお寺さんから全部を見てきているときに、源氏、頼朝が来て終わってからの時代は、いろいろ調べてみても大した発展もしてなかったのかなど。北条に移ってからだんだん来て後北条のころになると、やはり相当な厚みを持ってきた町になったというようなことです。

きょうのお話の中では、始まった治承4年のときは頼朝が鎌倉に入って、その次の年です。治承5年だと思いますけれども、『吾妻鏡』あたりを見ますと、そのときに塩飯を授けたというようなことございます。その塩飯というのは、何を食べたかということを書いてございませんで、ただ催したということで、6人の子供で一緒にはべって頼朝に。私どもの今のお正月もそうですけれども、正月で年が改まっていて、お雑煮を食べて何を食べたということじゃなくて、1つの儀式ですから、ただ食べるということだけで、宴会をやったという意味ではございませんで、やはり武運を祈るというものもあるし、頼朝に対する1つの礼でもあるし、御馳走を食べて終わりという意味でやっている宴会とは意味が違う塩飯ということで、先ほども申し上げましたように、何を食べたということは『吾妻鏡』にも書いてございませんで。きょう歴博の先生方がお見えでございますので、それでお話を伺うということでございますし、後ほどパネルを組んでございますので、そのパネルの中で皆さんがいろいろお話になるのだと思います。1つの儀式でございますので、一族郎党をつかまえて、それぞれの立場で捧げ物もするし、中では馬を引いてきて、それも一緒に捧げたとか、頼朝に捧げるだけじゃなくて、神社に馬を提供して、ですから、その残りが、神社には今馬の形をしたあれがどこでもいっぱいございますけれども、そういうものに形を変えていったのかなということも言われています。その中でどういう食事があ

ったのかなということで、パネラーの皆さんもいろいろお考えになって、お調べになっていたことを皆さんに御報告したいと。

御存じのように、千葉は東西南北、水に囲まれておりますので、今の利根川とは違いますが、北は川でもって来ておりますし、それから、今と地図は大分違います。江戸時代に相当変わりましたが、利根川があったのは、昔は香取神宮のあたりとか、今は駅の名前で、銚子に行くときに干潟という駅があります。あれは江戸時代だと思いますけれども、<sup>ちんかい</sup>椿海というようなところで、古い想像図を見ますと、どっちかという水軍が強かったんだろうと言われます。ですから、千葉の歴史では、水軍だと瀬戸内海の沿岸ということで言われておりますけれども、東京湾を含めて千葉は相当、神奈川もそうで、相模国も三浦のところでございますけれども、そういうものが来ていたと。やはり同じ食材でもほかのところとは違まして、山の幸、海の幸、いろいろな食べ物があったわけですし、垽飯の中身、どういうものを食べていたのかなということも、らしいなということもありますけれども、史料がなかなかないので、きょうは歴博の先生方を含めて、それぞれのお立場でいろいろなことをお話しただけなんだと思います。先生方のお話の後に、今度パネラーの皆さんがそれぞれのお立場からいろいろお話しただけなんだと思いますので、貴重な時間でございますけれども、ひとつ耳を傾けていただきたいと思います。

本会につきましては、私どもの千葉氏顕彰会のほうでもいろいろやっておりますけれども、市のほうの御協力を得て、ここに書いてありますように900年に向かってということです。去年はいろいろ関係がある市町村、県内を含めて、佐賀でございますけれども、西は九州の小城のほうから郡上八幡。これは6番目の東胤頼が行ったところでございますし、東北のほうは、源平のとき、頼朝は鎌倉から動きませんので、藤原のところへ行くときに三方から攻めたということで、みずから初めて動いたということでございますが、そういうものを含めまして、テーマとしての垽飯の問題について、きょうはじっくりお話を伺えるんだと思いますので、御清聴をよろしくお願い申し上げます。

市の協力に対して、私どももいつも御指導賜っておりますが、よろしく願いしまして、こういう会を重ねてまいりたいと思います。

では皆さん、よろしく御清聴のほどをお願い申し上げまして御挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございます。(拍手)